あらたの夏祭り（新野町）

新野地域には、夏の思い出づくりにほとばしるような情熱を注ぐ人たちがいる。新野商工振興会を中心とする夏祭り実行委員会の皆さんだ。23年前の夏、「子どもたちにふるさとの祭りの思い出を」と、手作りのお祭りを立ち上げた。めざしたのは「町民全員参加」。

7月24日、普段は車が行き交う商店街の通りも、この日ばかりは人であふれかえった。趣向を凝らした模擬店がずらりと並び、道の真ん中に置かれたテーブルには親子が集う。子どもたちがエレクトーン演奏や浴衣コンテストで華を添えると、大人たちも踊りやダンスで祭りを盛り上げた。圧巻は音楽花火。迫力満点の音と光の競演が、見る人の心にひと夏の思い出を刻んでゆく。

「どや、よかったやろ」と、誇らしげに語る青江会長。「新野は、地元を大切にする風土が根付いているまち。地域の熱い思いは、祭りを通して若者へと受け継がれていく。それを実感できるのがあらたの夏祭りの魅力です」。

あの時の子どもたちは大人になり、祭りの世話役となった。楽しかった思い出が、新たな地域力を生み出している。地域の愛情に包まれ育った子どもたちは、必ずや新野の将来を担ってくれるはず。大人になった若者もまた、子どもたちへ熱い思いを伝えようとしている。